



としょかんだより

今年ことしの校内読書週間こうないどくしょしゅうかんは、6月24日がつ（月）から28日にち（金）まで行われる予定です。

(1) おすすめの本 短冊コンクール

心こころに残のこった感動かんとうき的なお話はなしや、友達ともだちにすすめたい本ほんについて、本ほんの内容ないようの紹介しょうかいやおすすめの理由りゆうについて、短冊たんざくに書いてもらいます。図書館としょかんの入り口い近くの掲示版けいじばんに、クラス代だい表ひょうの作品さくひんを掲示けいじします。

(2) 担任の先生の読み聞かせ

朝あさの活動かつどうの時間じかんに、担任だんにんの先生せんせいに読み聞かせよきをしてもらいます。
どんな本ほんを選えらんでくださるか楽しみたのみにしててください。



(3) 読書ポイント貯金

本ほんを1冊さつ借りるごとにポイントたを貯ためることができ、ポイントおうに応じて、しおり・折り紙おがみ・塗り絵ぬえ・写うつし絵え・ごほうびシールなどの景品けいひんの中から選えらんで、もらうことができます。

★楽しみたのみにしててください。★

<図書館？ 図書室？>

図書館としょかんと図書室としょしつの違ちがいって、何なんでしょう？

図書室としょしつのイメージは、本ほんがたくさん置おいてある場所ばしょ。図書館としょかんのイメージは、本ほんがたくさん置おいてあるだけでなく、情じょう報ほうを検けん索さくしたり、本ほんに関かんする情じょう報ほうを司し書しょさんにうかがったり、本ほんを静しずかに読よみひたったりする場所ばしょ。

学校がっこうの「図書室としょかん」で、いろいしゆろいいな種しゆ類いの本ほんを讀よんで、自分じぶんが経けい験けんしたことなの無ない世せ界かいを、想そう像ぞうを膨ふくらませあじお味もわえればと思おもいます。

こくぶんじしょうがっこう ぜんかいはっこう し がくねん ひつどくと
国分寺小 学校では、前回発行した「としょかんだより」でお知らせしましたように、学年ごとに必読図
しょ せんてい ねんかん かなら よ ほ ほん よ うえ しんきゅう すす おもてめん
書を選定し、1年間に必ず読んで欲しい本を読んだ上で進級するように進めています。また、表面の
ように、読書週間で、各クラス担任の先生方から、おすすめの本を読み聞かせしていただく機会を設け、
さまざまな本に触れていけるように試みしています。

ぜひ、ご家庭でも、本を通して、親子で楽しい物語の世界を共有したり、新しい知識を深めたりし
ていければと思います。

ことし こくぶんじしょうがっこうぞうりつ しゅうねんきねん ふしめ とし あ むかし こ
今年、国分寺小 学校創立150周年記念の節目の年ということもあり、昔、子どもたちがどんな本
を好んで読んでいたか、児童書の歴史を国分寺小 学校の歴史に絡めてご紹介していきたいと思ひます。

<国分寺小と児童書の歴史 1>

こくぶんじしょうがっこう ぞうりつ めいじじだい まきもの こがたか ならえほん くさろし よ
国分寺小 学校が創立された明治時代には、巻物が小型化し「奈良絵本」や「草双紙」と呼ばれるおとぎ
ばなし じょうり かなみき すしが だいざい もくほんいんさつ りょうきん あんか ほん よ いっぱんしよみん こう
話や浄瑠璃・歌舞伎の筋書きを題材とした木版印刷で量産できる安価な本が読まれており、一般庶民でも購
にゅう こ たの
入でき、子どもたちも楽しめていたようです。

めいじじだい つぎ たいしやうじだい あか とり い だいいめい しどうぶんげいざっし えざっし そうかん
明治時代の次の大正時代には、「コドモノクニ」や「赤い鳥」と言う題名の、児童文芸雑誌や絵雑誌が創刊
されるようになり、より質の高い絵を中心にすえ、子どもの無垢な心を大切にする「童心主義」にもとづい
た児童文芸雑誌が相次いで創刊されました。

こくぶんじしんじやうこうとうしやうがっこう よ だい2じせかいだいせん こう
国分寺尋常高等小 学校と呼ばれた第2次世界大戦の頃には、「キンダーブック」が「ミクニノコドモ」に改
だい ないやうてき とうせい さいしゅうてき きゅうかん
題され、内容的にも統制されたものになり、最終的には休刊になってしまったものもあつたようです。

こくぶんじそんりつこくぶんじしょうがっこう なまえ か だい2じせかいだいせんご にほん
国分寺村立国分寺小 学校と名前が変わつた第2次世界大戦後には、「日本ノコドモ」「キンダーブック」が復
かん は しどうぶんがくしゃきやうかい ぞうりつ みんしゅしゅぎ くに めざ こ どもに 未来への夢と希望を届けようと
刊を果たし、児童文学者協会が創立され、民主主義の国を目指し、子どもに未来への夢と希望を届けようと
する気運が高まり、「子供の廣場」や「赤とんぼ」等の児童雑誌が次々と創刊されました。

引用 「日本の絵本の歩み」国立国会図書館 国際子ども図書館

<紫式部のお墓が 下野市にある？>

げんざい NHKで放映されている大河ドラマ「光る君へ」の主人公、紫式部のお墓と言われている「五輪塔」
が、下野市紫に残されています。もともとは、姿川沿いにあったものを、明治時代初期に現在の場所に移さ
れたようです。地名が「紫」であることから、紫式部の墓と言われるようになったのではないかとのこと
です。

